

住みよい地域づくりへ全力 青年が社会にしっかり、はばたける支援を



おおば
裕子

の
ゆうゆう
通信

日本共産党
市会議員
(中原区)
市政報告

NO, 8
2007年10月

(発行・連絡先)
日本共産党
川崎市議員団
TEL(200-3360)
FAX(245-4140)

九月市議会、決算審査特別委員会で 質問しました

大庭裕子議員は、九月二六日に開かれた川崎市議会決算審査特別委員会で、安心・安全に暮らせる街づくりについて、新城高校前の地盤沈下事故、雨水・浸水対策、生活道路・側溝の整備について、さらに市営住宅の整備と青年雇用など、とりわけ青年の住宅支援について質問しました。

安心・安全なまちづくりを

安心・安全な街づくりでは、県立新城高校前の地盤沈下は、雨水幹線工事現場で作業の不注意によっておきた事故で、道路が「すり鉢」状の半径20メートル中心部の深さ30・5cmにわたって陥没し、学校や住宅に被害をあたえました。

住民説明会に参加した大庭市議が、住民の声をもち



自席から質問する大庭議員

に、事前の家屋調査、補償や説明会のあり方などについていただきました。

道路整備は、この八月に出された「川崎市税制問題研究会最終報告」で、道路の「維持補修費を回復」との認識を示したことをとりあげ、予算の拡充を求めました。

雨水対策については、都市型集中豪雨で、被害が続いている中原区小杉駅周辺の事例をとりあげ、抜本的な改修とともに、開発重視ではなく、住民の生活を最優先の街づくりをすすめていくことを指摘しました。

市営住宅の整備を

市営住宅の応募倍率は、この五月、平均倍率23・

9倍で毎回5000人前後が落選するなど、大変厳しい状況です。その内5・3%が、高齢者、障害者、一人親世帯です。

こうした状況であるのにあくまで市営住宅ストックにこだわり、住宅を増やす支援対策に手をつけようとしない姿勢を批判しました。

アパートの敷金補助 など青年の住宅支援

大庭議員は青年の住居支援について、厚労省の「ネットカフェ難民」実態調査でも、七割近くの人が、「アパートの入居の際に必要な敷金など初期費用が貯蓄できない」と答えていることを指摘して、非正規雇用の広がりのもとで、日雇いで働かざるを得ない青年の実態が社会問題になるなか、本市においても独自で実態調査をおこない、将来ある青年が路上で暮らすことのないよう対策をもとめました。

おおば裕子さんに期待します

下小田中在住 高橋 順平

(28歳)

今、青年の雇用問題が深刻になっています。正社員の人達はサービス残業で働かされ、パートやアルバイトなどで働く人達が沢山います。人間をモノのように扱う政府の姿勢は変えていかなければいけません。

また、障害者の人達の雇用も厳しいです。障害者は「障害者自立支援法」のせいで応益負担にさせられ苦しんでいます。障害者が安心して働ける環境を創っていかなくてはなりません。大庭さんは、とても

元気でエネルギーのある人です。

大庭裕子さんならこのような問題にも真剣に取り組んでもらえると思っています。



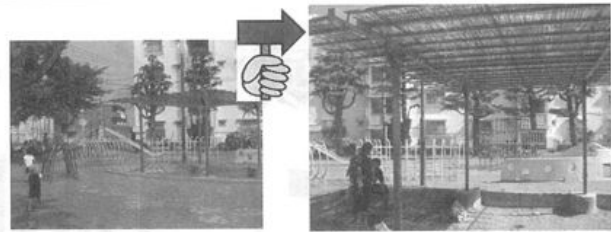
▲中原区に住む青年と懇談



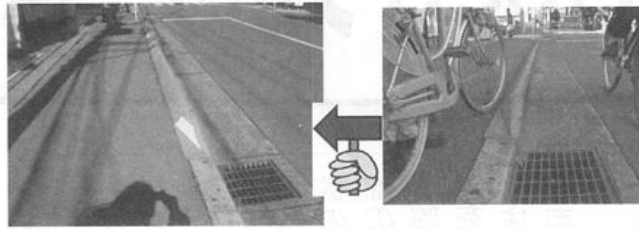
みなさんのご意見・ご感想をお寄せ下さい。

地域のねがいひとつひとつ前進

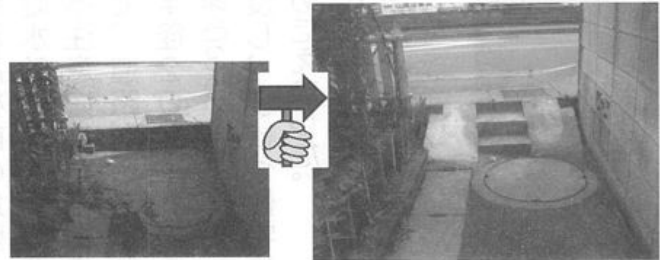
歩道と車道の境を盛りに安全な目印が付き全盛りを促す。中1丁目（下小田）



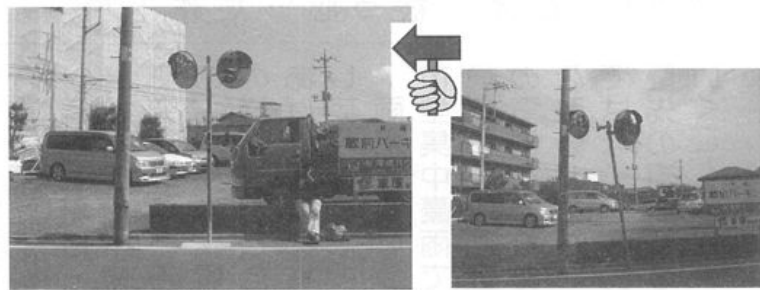
宮内公園の砂場に日よけのヨシズがつけました。(宮内)



市道との段差を改善し階段とスロープを整備。(宮内1丁目4)



「傾いたカーブミラーを直してバス停付近(宮内3丁目蔵前)」



このとまれ



秋のお祭りの季節です。子どもたちや若い人たちが山車(だし)や御神輿(おみこし)を担いで、地域をねり歩く姿を目にするると自然に心が躍ります。マンションや家がたくさ

ん建ち並ぶ中で、あっちこちで活気ある掛け声を聞けるのはうれしいことです。二〇数年前、この中原で初めて田植えを体験させていただいたことがあります。あの泥土の感触は今でも忘れません。収穫を祝い、感謝するお祭りの意味合いを次世代に引き継ぐ大切な行事です。

十一月には、また新たなお祭りが開催されます。地域のみなさんとつくる「森とせせらぎ祭り」。私も実行委員会のメンバーとして成功させていきたいと思っています。



森とせせらぎ祭り

2007年11月11日(日)
9:00~16:00

中原区と高津区の境界を新城から井田にかけて流れる江川の流域につくられた「江川せせらぎ遊歩道」は、13年にわたる市民の運動が実り2003年に完成しました。共産党の徳竹きよし前議員も議会内外で協力し、実現に力をつくしました。

このたび、江川流域で《水と緑の回廊》のまちづくりをめざす「森とせせらぎネット」のよびかけで、周辺の町会、学校、市民が集まり、第1回「森とせせらぎ祭り」を行うことになりました。11月11日の日曜日、江川流域と井田山の各所を会場に、さまざまな催しが予定されています。

ホームページ: <http://www.moritoseseragi.net>

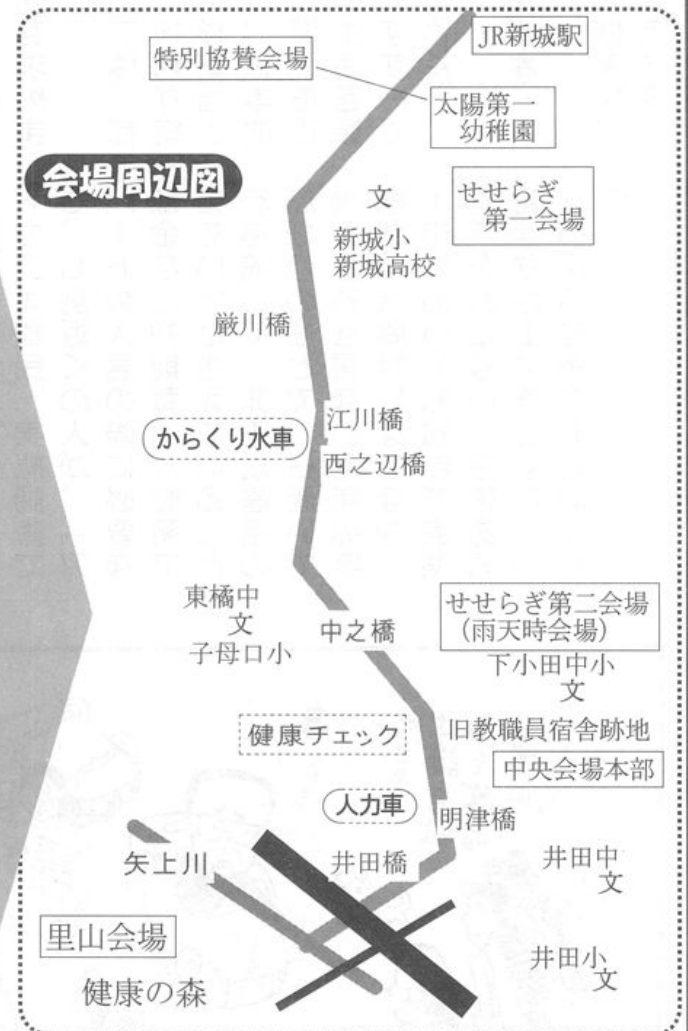
主催/森とせせらぎ祭り実行委員会
後援/川崎市 川崎市教育委員会 川崎市文化財団



主なプログラム

- ・開会式(市長)
- ・もちつき大会
- ・からくり水車
- ・パトントワリング
- ・吹奏楽・合唱
- ・ロックソーラン他
- ・和太鼓・鼓笛隊
- ・パワオーマー、寄席
- ・野外人形アート展
- ・野外人形劇場他

会場周辺図



私たちの町

今井の地名

地名研究者
やすいみちこ

今井は中原区のほぼ中央、二ヶ領用水に沿った地域です。「今」は新しいという意味があり、十二世紀の開かれた井田からみれば、十六世紀の小田原北条氏の役割帳に記載された今井の初見は、ずっと後から開かれた新しい田園ということになります。

江戸時代には、上流の中原街道の神地橋の下手から引いた用水や木月堀でうるおう豊かな水田地帯でした。この広々とした平坦地は、稲毛領内の徳川將軍家の「お鷹場」の一つでもありました。二ヶ領用水に架かる「お鷹野橋」(現在の今市橋)や「橋場」の屋号は戦前まで言いつがれていたことでした。



▲現在の今市橋(法政通り)